

(別紙2-1)

5年 4月 28日

二本松市議会議長 様

会派名 みらいの風

代表者名 鈴木一弘



## 視察・研修報告書

当会派において、下記により視察（研修）を（に）実施（参加）しましたので報告いたします。

記

1 期間 令和5年 3月 30日(木)～ 3月 31日(金)

2 参加者 ① 鈴木一弘 ② 佐藤源市

③ 佐藤運喜 ④ 斎藤徹

⑤ 武藤清志 ⑥

3 視察（開催）地及び視察（研修）内容

別紙のとおり



(別紙1-2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派           みらいの風          

氏 名           鈴木一弘          

○ 月 日           令和 5 年 3 月 30 日 (～ 日)          

○ 場 所           東京都池袋アットビジネスセンター池袋駅前別館          

○ 内 容           地方創生によるつなぐ人材の重要性          

### ○ 視察・研修の感想

株式会社電通に8年間務めた後に佐々木氏と(株)ノットワールドを創業した  
河野有氏が講師であったが、若くてバイタリティにあふれる方であった  
創業の前には、世界一周、また日本国内の様々な場所に行き見聞きした知見は  
本人にとっても企業家としても活動の重要なベースとなっているようである  
本市も訪ねられており、近親感を持てる分聞きやすい抗議であった  
国内外の相互理解を促進することで、人と人、人と地域の結び目になるという  
発想は、業界にもマッチしているようである

### ○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

ガイドとゲストの関係は、ゲストが体験したいことに合わせる柔軟性を持つ  
事、ゲストの発見をサポートすること等と言っており、本市としては訪ねる  
方々に、それらが出来ているのかはなはだ疑問である  
ガイドこそが、人と地域の結び目であり、ガイドの育成が大切であるという事  
である

観光事業は、簡単に内側に入る仕組みを作ることということであり、ゲストに  
Friendlyだと感じてもらわなければならない

今の時代であるので、口コミを書いてもらうことが、大きく影響する

口コミを書いてもらえる、本市の観光事業を進めたいものである。

本市の歴史、うまいものなどを、ゲストに拡散してもらう方法を考えよう

(別紙 1-2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派           みらいの風          

氏 名           鈴木一弘          

○ 月 日           令和 5 年 3 月 31 日 (～ 日)          

○ 場 所           日本橋ふくしま館 MIDETTE          

○ 内 容           福島県の物産品と二本松の物産品の振興について          

○ 視察・研修の感想

          初めて伺ったが、規模の大きさに驚いた          

          平成 26 年 9 月に開館して 9 年目となり、2,500 品目の販売をしている          

          その内、日本酒が 400～500 品目であり、本市よりも酒、米、和菓子等が            
          出品されていた          

          都内イベントにも参加しており地元との交流を売りとしている          

          1 日 700～800 名が入館しており、土日は 1,000 名ほどが入店している          

          売り上げはコロナで 3 億 7,000 万円まで落ち込んで、今期 4 億を超える見込み          

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

          ※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。          

          市でも、規模を小さくこのような場所が持てれば良いと考える          

          市内企業、店舗等で共同でこの様な場所を確保し、市で補助を行うシステム            
          があれば、直接販売のシステムが出来上がるものと思う          

          MIDETTE に関しては、現在売り上げでは、採算ベースには少し足りないよう            
          であるが、運営の仕方によっては採算ベースに乗るように思う          

          MIDETTE としても、市町村イベントは積極的に受け入れているとのことで            
          本市の店舗、事業者の皆さんにも大いに利用していただきたい          

          周知の上、市として扇動をすべきである

視察・研修報告書

会派 みずいの風  
氏名 佐藤淳希

○ 月 日 令和5年 3月30日 (～ 日)

○ 場 所 アトビジネスセンター 池袋駅前別館

○ 内 容 地方創生によるつぎ人材の重要性

○ 視察・研修の感想

地方創生による人材の重要性として題し、株式会社ノオワールドを  
基盤に創業し、世界水泳のDMO形成促進事業への取り組み、  
広域周遊観光促進のための専任官に就任(遠征先として) 特々  
ミヤコシティ、人材、人と地域の結び目となる、技能人、地域を幸せにする、  
「考えるべきこと」どの様につくるのか、何を目的に作るのかを価値をつくる、  
価値を伝える、拡散するなど、さらなる取組みをつくること、  
地域への人の呼び込み、発展へとする、常に課題を創出することが重要である。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

地方  
○ 地方創生への人材の育成で、他地域での環境の意味中の  
研修の必要性。

○ 他地域での交流の促進による人の育成へ取り組み。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みよしの風  
氏 名 佐藤 洋市

- 月 日 昭和5年3月21日(～日)
- 場 所 日本橋ふくしほ館「MIDETTE」
- 内 容 福島物産と三枝市物産品の振興について

○ 視察・研修の感想

日本橋ふくしほ館については、戦後26年4月開館し9年目である、目的は、ふくしほ復興のための開館し、地元の飲食関係者、物産の魅力の発進、交流、企業への販路、都内のイベントへの参加を主体として、運営されている。年間の売上額は、4億、9000万円であり10の店舗は、900人位であり、1000人を越える時もあり、近隣の地産の米店又三越店も買い回り、普及している。場所と品物の宜しさが、消費者に喜ばれている様である。又売場の接待と研究されているのが印象に残った。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

成果

1. 物品販賣に当っては、品質の内容が充実していること
2. 販賣に前接待力の極めて宜かた。(対応)

市政反映

1. 三枝市内の振興管理施設への接待のありかを一層研究すること
2. 各施設における、市物産の販賣コーナーの施設の設置の必要性検討
3. 販賣場における品物をどの様に扱っているかの内容の検討の必要性

(別紙2-2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 佐藤 運喜

- 月 日 令和5年 3月 30日 (~31日)
- 場 所 1) アットビジネスセンター池袋別館 (30日14:00から)  
2) 日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ) (31日10:30から)
- 内 容 1) 「地域創生での、つなぐ人材の重要性」河野有・旅行会社社長  
2) 福島県物産品と二本松市物産品の振興について 佐々木貴史・館長

### ○ 視察・研修の感想

1) 地方議会総合研究所・池袋別館で「地域創生での、つなぐ人材の重要性」についての研修を受けた。2014年創業ベンチャー企業の30半ばの若き社長の講演は、内容の理解できない点もあったが、全国から集まった26人の議員とワークショップで話し合うことで理解を深めた。旅行業界の視点で事業業務展開と我々の思いには共通点が少ないと思った。講師は特に二本松に思い入れがあり東和関係の話題で大いに盛り上がり、事例の中で「まちやど」では、移住定住にもつながる分野が東和の民宿に共通し、無料宿泊「おてつたび」など参考になる点多々あった。

2) 公益財団法人福島県観光物産交流協会のアンテナショップ「ふくしま館」を見学した。東京日本橋界限では徳島県や他の県のショップもあり有意義な見学となった。お昼も県内自慢のラーメンを施設内で堪能できレベルの高さを知らされた。H26年9月オープン、八重洲店と統合し 地酒をはじめ特産品農産物、野菜が特に人気を博している。年間売り上げ4億3千万円、入場者数1日当たり700人から900人、90万円の売り上げを上げていて収益もコロナ以前に近づきつつあるとの事でした。更に福島の今を届けイメージアップを図るため佐々木館長は熱く語り続ける。最近の日本酒ブームに乗り新製品と旬の果物、赤べこや移住定住等の観光パンフ、2500種400品から600品を取り揃え イベント等で福島PRの発信基地としての大きな役割を担っています。毎月29日はふくの日として、加工品などプレゼントイベントを開催している。これに乗じて今後に期待。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

1) 研修(講義)はいまいちだったが逆に成果としては、市政にも若い力の登用が必要だという事を強く思った。①地域での稼ぐ力 ②観光教育から広げていく ③国民(市民)総ガイド計画・旅先案内人の育成。この3つのために、1、お客様(市民)への愛。2、地域、地元への愛。3、未来へのつなぐ仕事をしている人々への愛。地域の人材育成には何が必要か観光立市二本松の自立の為、おおいに考えよう。

2) 何気ない見学が良い意味で勇気づけられ参考となった。何事もやる気が大事。「日本橋ふくしま館」ファンクラブ会員募集中としてSNS等で積極的行動することで地味に活動が全世界に知らされます。この事を、現「二本松城報館」にそのままスライドすれば ミニふくしま二本松版として観光物産、産業振興に大きく寄与する事でしょう。ネットの利用をうまく活用することです。一つ例にあげれば、「さとふる」ふるさと納税です。これらの活性化は返礼品の質、量を共に向上させ、二本松の名を世界に轟かせると思います。何こともキッカケで、すぐ行動することです。1次産業から6、7次産業まで全て活性化していくことでしょう。勇気が湧き明るい未来が見えてきました。 以上

(別紙2-2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 齋藤 徹

○ 月 日 令和5年3月30日(木)

○ 場 所 アットビジネスセンター池袋駅前別館

○ 内 容 「地方創生によるつなぐ人材の重要性」  
講師 河野 有

○ 視察・研修の感想

築地を中心にツアー会社を運営する方の講演で、人と人、地域と人の結び目を作り関わる人・地域を幸せにすること目的としている。フレンドリーなガイドの育成に力を入れており好評を得ている。また、独自の体験型ツアーをつくり、ゲストに成功や失敗を体験していただき顧客満足度を上げてリピーターの獲得に成功している。また、ガイドツアー時だけではなく地域イベント等に参加し地域交流も大切にし仕事に繋げている。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

①DMO と市内観光業者との連携の推進

②魅力あるガイドの育成と独自ツアーの創生

③地域商品の付加価値化

④新たな観光資源の開発



(別紙 2 - 2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 齋藤 徹

○ 月 日 令和 5 年 3 月 3 1 日 (金)

○ 場 所 日本橋ふくしま館 MIDETTE

○ 内 容 福島県の物産品と二本松の物産品の振興について

○ 視察・研修の感想

ふくしま館は、福島県の魅力を伝える首都圏情報発信拠点であり、約 2500 アイテムの福島県の物産の販売や県内の地域団体のイベントや飲食ブースでの県内飲食店の PR 事業などを行っている。コロナ前は、約 4 億 3 千万円の売上げがありコロナ禍は、約 3 億 7 千万円であった。本年度は 4 億円を上回る予定で一日約 900 人の来客がある。私が視察した際は、飲食ブースで会津のラーメン屋さんが出店をしていて盛況であった。食券機は、デジタルタッチ式の最新の物であった。二本松の物産品としては、お菓子・お酒・米・加工食品・伝統家具等の品揃えであった。また、同じ建物に県の事務所があり、移住・定住の一翼を担っている。

復興に向かう福島県の今と福島県の魅力を伝える施設として益々の盛況を願う。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

二本松市の物産品の取扱いを更に推進する必要がある。また、ふるさと館で購入した物が、その場でふるさと納税になる仕組みを構築できないか協議する必要がある。また、地域団体が出店する際は更なる補助が必要と考える。

---

---

---

---

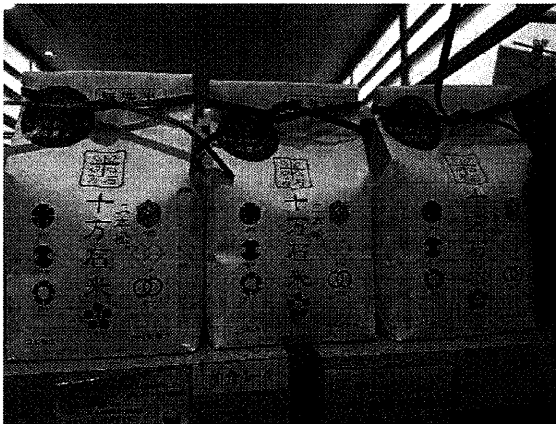
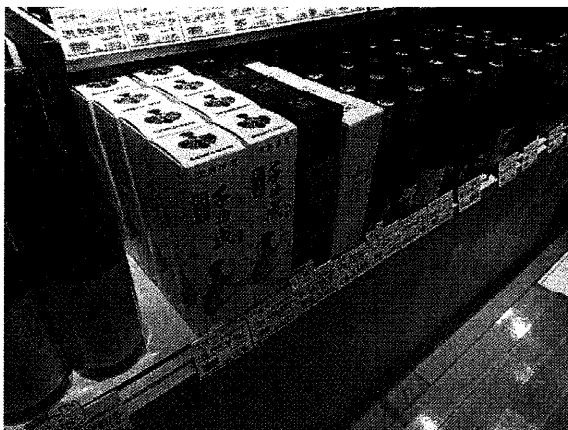
---

---

---

---

ふくしま館の二本松の物産品



(別紙 2 - 2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派           みらいの風          

氏 名           武 藤 清 志          

○ 月 日           令和 5 年 3 月 30 日          

○ 場 所           東京都 アットビジネスセンター池袋駅前別館          

○ 内 容           地方議会総合研究所主催セミナー            
          『地方創生での、つなぐ人材の重要性』          

○ 視察・研修の感想

講師の河野 有氏は 2014 年に旅行ベンチャー (株) ノットワールドを創業して  
国際的視点で人と人、人と地域の結び目 (KNOT) となり、関わる人・地域を幸せ  
にし、世界平和に貢献することをビジョンとミッションにしており、議員としての  
政治活動に共通する理念を感じられ、大変興味深く講義を受けることができた。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

・社名である KNOT の結び目を創出することは本市の市政運営においても基礎的要素  
であり、様々なミッションにおいて心がけて行きたいと考える。

・主に外国人個人旅行者向けのツアーを展開してきたとのことであり、本市において  
も講師のような民間企業経営者との連携を図る観光振興を展開できると感じた。

・ちなみに講師の河野氏は以前、「木幡の幡祭り」に来て水垢離も経験し、祭り自体  
に強い印象を記憶しているとのことで、本市に関する情報も有していた。

・ガイド育成とツアー造成を実現し、ユーザーからの高い満足度を実現しており市政  
運営における人材の育成と市民生活の高い満足度を獲得する市政課題の実現が山積し  
ていると考える。

(別紙 2 - 2)

## 視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 武 藤 清 志

○ 月 日 令和 5 年 3 月 3 1 日

○ 場 所 東京都 日本橋ふくしま館「MIDETTE」

○ 内 容 福島県物産と二本松市物産品の振興について

### ○ 視察・研修の感想

本施設は公益財団法人福島県観光物産交流協会が日本橋から福島県の魅力を伝えるための首都圏情報発信拠点として設けている。愛称の「MIDETTE」には、「見てね、来てみてね」といった「お誘いの気持ち」を福島県の方言的に表現している。本県が全国に誇る日本酒や果物、工芸品等の特産品の魅力をはじめ、季節ごとの観光や移住に関する情報、食の安全・安全を確保する取り組み等、復興に向かう「福島は今」を発信している。一日あたり900人ほどの来客があり、売上は年に4億円超で本市からの商品も店頭で並んでいた。

### ○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

・本市からの商品もあったが、市内ではあまり承知していなかった社名であり、工夫を凝らして販路を求めている存在を心強く感じた。

・視察しなければ知らないままであった施設であり、本市の産業振興にも活用して行くべきと考える。

# 研修日程表

研修先 東京都

令和5年

3月30日～31日

	日付	スケジュール	宿泊先	食事	備考
1日目	3/30 (木)	二本松駅 9:05発 東北本線郡山行 郡山駅 9:30着		朝	
		郡山駅 9:41発 JRやまびこ52号東京行 大宮駅 10:51着			
		二本松駅 9:05発 郡山駅 9:30着 9:41発 大宮駅 10:50着			
		大宮駅 11:00発 JR池袋駅 11:35着		昼	
		昼食 12:00～13:00		都内	
		研修 14:00～17:00			
		地方議会議員セミナー 観光政策で地域の未来を創る in 東京 「地方創生によるつなぐ人材の重要性」 河野 有 講師			
		アットビジネスセンター池袋駅前別館			
		JR池袋駅 17:20発 JR上野駅 17:38着		夜	
		宿泊 18:00 アパホテル新御徒町		都内	
夕食 19:00～20:00					
2日目	3/31 (金)	朝食 8:00～9:00		朝	
		稲荷駅 9:31発 日本橋 9:42着		都内	
		研修 日本橋ふくしま館 MIDETTE 10:30～12:00			
		昼食 12:10～13:00		昼	
		日本橋駅 14:01発 大手町駅 14:06発 東京駅 14:07着		都内	
		東京駅 14:36発 郡山駅 15:57着			
		郡山駅 16:07発 二本松駅 16:00着			